

日本医療・環境オゾン学会活動紹介

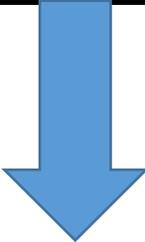
部会活動等セッション

基礎研究部会

三浦敏明、中室克彦、櫻井正太郎、
松村浩道、内藤博敬、氷室秀知、錦 善則

基礎研究部会活動の目的と活動状況

- 本学会の5部会のうち「臨床研究部会」、「獣医部会」、「歯科部会」、「環境応用部会(オゾン水研究会)」の活動はオゾンの有効利用を実際に具体化する活動であるのに対し、「基礎研究部会」は、これら4部会の応用研究活動を基礎研究の面から支えることに、その部会活動の主要な目的・役割である。したがって、部会を構成するメンバーは基礎研究者が中心となるが、設立当初から大学や研究所に所属する基礎研究者の会員が少ないのが本会が抱える問題点の一つになっている。



そんな中で取り組んできたのが

基礎研究部会の主要な活動

1. オゾン療法に関する学術情報の収集と発信

- ・学会誌「医療・環境オゾン研究」の編集、論文審査
- ・日本医療・環境オゾン学会会報の編集
- ・学会誌や会報に掲載するオゾン関連記事（総説、解説、原著論文、文献紹介、トピックスなど）の執筆

2. 他部会活動への協力

- ・要請に応じて、他部会が主催する講演会やセミナーの講師
- ・他部会が発行する書籍、資料集などの記事の分担執筆
- ・基礎的学術情報の提供

学会誌・会報に執筆した主な記事 – 部会として –

全訳論文

- ・ 網膜色素変性症患者におけるオゾン療法：20年間オゾン療法で治療された網膜色素変性症患者の臨床的改善および酸化ストレスの挙動
Vol.24、No.4、2017
- ・ 変形性膝関節症患者におけるオゾン療法の適用
Vol.23、No.3、2016
- ・ 医療におけるオゾン：低用量オゾンのコンセプト – 指針と治療戦略 –
Vol.21、No.1、2014

学会誌・会報に執筆した主な記事 – 部会員個人として –

- 三浦ら、オゾン化オリーブ油の成分分析. Vol.26、No.3、2019
- 三浦ら、オゾン化オリーブ油の成分分析. Vol.26、No.3、2019
- 中室、バージャー病(特発性脱疽)に対してオゾン療法は有効か？
Vol.26、No.1、2019
- 中室、戦前の陸海軍の論文誌に掲載されたオゾン療法に関する研究
の紹介 Vol.25、No.4、2018
- 三浦敏明ら、オゾン療法的作用メカニズム. Vol.25、No.3、2018
- オゾン化植物油の殺菌作用と臨床応用. Vol.24、No.1、2017
- オゾン療法的作用機序はどこまで明らかになってきたか
Vol.21、No.2、2014